

土地利用	
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ◎閑静な住宅地【水・金・新】 ◎理科大が開設され、大学生が増え、街が多少若くなった【金】 ▲地域全体で生垣を推進して「田園都市」にできないか【水】 ⇒生垣推進に地域の協定助成金【水】 ▲風致地区内外の違いがあまり感じられない【金】
空き家	<ul style="list-style-type: none"> ▲長い間空き家が続いており、印象が悪い【金】 ⇒長い間空き家の場合、所有者に折衝して解体してもらう【金】
商店街	<ul style="list-style-type: none"> ◎駅前に商店街がコンパクトにまとまっており買い物に便利【金】 ▲商店街の店舗の魅力・種類少ない、空き店舗の増加等【金】 ⇒歩いて買い物しやすい商店街づくり、空き店舗の仲介・活用、月1回程度の歩行者天国【金】
施設	<ul style="list-style-type: none"> ◎公共施設が充実している【水】 ▲大きな病院がない【水】 ⇒大きな病院(総合病院)の誘致【水】 ▲清掃工場等の周辺を体育・芸術ゾーンに設定できないか【水】 ⇒水元中央通りに文化施設の誘致【水】 ▲地区センターにエレベーターがない【水】 ⇒バリアフリー化【水】 ▲理科大があるのに宿泊施設がない【金】
その他	<ul style="list-style-type: none"> ⇒葛飾区のまちづくりファンドの創設【水】 ⇒街の問題解決を行うための活動拠点づくり(場所と人材)【金】

交通	
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ▲バス本数少ない、休日の水元公園への公共交通少ない【水】 ▲金町駅～区役所のバスがない、バス運行情報の一元化【金】 ▲フィーダー系統のバス停をどこでも乗り降りできるように【金】 ⇒小さなバス等の有効活用【水・金】 ⇒水元公園のアクセス：シェアサイクルや乗合ワゴンタクシー【金】 ⇒バス停と駐輪場のセット【金】 ▲地下鉄8号線と新金貨物線を水元へ延伸できないか【水】 ⇒推進協議会の設置【水】、新金線が延伸されると便利【金】
金町駅	<ul style="list-style-type: none"> ▲改札の混雑、駅北口はタクシー乗降時に雨に濡れる【金】 ⇒北口・西口改札の新設【金】 ▲駅近くに街の案内板や外国人向けの道路案内がない【金】 ⇒駅近くに街の案内板・マップの設置【金】
歩道	<ul style="list-style-type: none"> ◎一部を除いて道路が広い【水】 ▲駅北口の駅前は歩道が狭く、ベビーカー等が通りにくい【金】 ⇒無電柱化、歩行者が安心して楽しく歩ける歩道の整備、理科大通りの交通混雑を避けるため一方通行化【水・金】
自転車	<ul style="list-style-type: none"> ▲幅員が狭く、自転車と歩行者の交差困難【水】 ⇒自転車歩行者専用道路の整備、道路の拡幅、車道と歩道の段差解消【水】 ⇒駐輪場を駅周辺に分散し、駅前に自転車を進入させない【金】
その他	⇒水元中央通りへ店舗等の誘致、沿道景観のコントロール【水】

緑・景観	
公園	<ul style="list-style-type: none"> ◎水元公園がある、公園が多い【水】 ▲水元公園の広場で大きな声を出せない【水】 ⇒公園を使用しやすいようにルールの緩和【水】 ▲金町駅から水元公園へのアクセス、公園と水の活用【金】 ⇒金町駅から水元公園への誘導標識の増設【金】 ▲水元公園とさくら堤の統一した整備・活用が必要【水】 ⇒土手道を2倍に拡張、駅からのアクセス整備【水】 ◎にいじゅくみらい公園の境界に柵がなく、オープンな景観【金】 ▲にいじゅくみらい公園が活用されていない【金】 ▲東金町3丁目や新宿は子どもが遊べる公園がない【金・新】
生産緑地	<ul style="list-style-type: none"> ◎畑(生産緑地)が多い【水】 ▲農地が急速に無くなっている【水】 ⇒生産緑地を緑地のまま維持する場合は税金緩和【水】
景観	<ul style="list-style-type: none"> ▲清掃工場の煙突建屋の色彩デザインを周辺環境になじむようにコントロール【水】 ⇒水元中央通りの修景、クラウドファンディングを活用した清掃工場の修景デザイン・ペンキ塗り替え等【水】
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◎中川の土手が整備され散歩道に活用されている【水】 ◎大場川の桜堤【水】 ⇒水元桜堤や大場川桜堤の適正な維持管理【水】

市街地整備	
金町駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ◎東金町再開発による新たな人・街、道路が整備される【金】 ▲駅前道の幅が狭い【金】 ⇒バス等を一方通行化して混雑を解消または道路の拡幅【金】 ▲南北交通と駅舎に課題あり【金】 ⇒西口・東口改札の整備、駅西側の地下道の拡張【金】
拠点形成	<ul style="list-style-type: none"> ◎区画整理された住み良いまち【水】 ⇒金町だけでなく水元にも地域の拠点を設定、図書館・保健所がある所に地区センターを移転して生活拠点とする【水】 ⇒清掃工場周辺は芸術文化・健康の拠点を旨とする【水】
道路	<ul style="list-style-type: none"> ▲水元中央通りの街並み景観形成、店舗の誘致を検討【水】 ⇒水元中央通り沿道への地区計画の導入・電柱の地中化【水】
公園	<ul style="list-style-type: none"> ▲子どもが遊べる広場がない【水】 ⇒西水元水辺の公園を広々と遊べるように整備【水】 ▲東金町3丁目は公園がない、子どもやファミリー層が安心して暮らせるようにしてほしい、高齢者用のベンチもない【金】 ⇒行政に駐車場を買収してもらい公園をつくってもらう【金】
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ▲建売業者による密集住宅の増加【水】 ⇒庭園木・屋敷林を保存するため「田園住居地域」の指定【水】
エリマネ	<ul style="list-style-type: none"> ▲水元地域でエリマネ組織を設立できるのか【水】 ⇒エリマネ活動で人との交流や繋がりが生まれる取組を実現【金】
その他	⇒区民の意見や要望を受け入れてくれる場所・仕組み【金】

防災	
水害対策	<ul style="list-style-type: none"> ◎水元総合スポーツセンターがあり、災害時に活用できる【水】 ▲区民事務所は狭く、浸水するため防災拠点とならない【水】 ⇒生活拠点に位置づけ、区民事務所・図書館等の移転【水】 ▲避難所の防災倉庫を2階に上げる、バリアフリー化が必要【水】 ▲水害時にどこに避難したらよいか分からない、マンションに避難しなくても事前に協定が必要【金】 【その他対策案】 ⇒地下貯水槽、排水溝の整備が必要【金】 ⇒川沿いにデッキだけの水害避難タワーを設置【水】
防災意識	<ul style="list-style-type: none"> ▲想定される水害被害を真剣に意識してもらおう対策が必要【水】 ⇒地域の魅力、防災づくりなど、都との連携をもっと強く【水】 ▲住民の防災意識は、大きな災害があれば高いが薄れる【金】 ▲コロナの影響で思うように避難訓練ができなくなっている、避難訓練はいつも同じ人たちの参加【金】
地域内の連携	<ul style="list-style-type: none"> ⇒街・町会、商店街、理科大、企業、学校等の防災ネットワークとなる本部機能、拠点機能の設置【金】 ⇒地域の事を集約する仕組み(町会がボトムアップで取り組む)【金】 ⇒理科大のボランティアを募れる仕組み、理科大と地元が協定を締結し、若者を派遣してもらい情報発信等をしてもらう【金】
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ▲防災公園や防災設備があるのに区民に知られていない【金】 ⇒新しく来た人も情報を把握できるように、放送局をつつたり、SNS、紙媒体、TVなどで情報発信【金】
空き家	<ul style="list-style-type: none"> ▲空き家があり、火事が起きた際に大変【水】 ⇒空き家を壊して更地にする【水】
その他	⇒平常時の船着き場の有効活用：水上バスで水元公園まで行けるようにする【金】

復興	
被災後も残りたい魅力	<ul style="list-style-type: none"> ◎中川土手の遊歩道や水辺の公園、大場川の桜【水】 ◎にいじゅくみらい公園、江戸川土手の取水塔等の風景、閑静やレンガ等の何気ない歴史を生かす【金】
復興時に解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"> ▲高層建物の機械室等は地下ではなく2階以上に【水】 ▲道路啓開や救援できるように道路整備【水】 ▲線路沿いに東西方向の道路整備【金】 ▲無電柱化【金】
地域でできる復興事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・水元も高低差ある、住民が情報を知るための勉強会等【水】 ・自治会等に関わっていない人のためSNS等で情報発信【金】 ・震災復興まちづくり模擬訓練の実施【金】
中高層・高床化促進地区	<ul style="list-style-type: none"> ・中高層・高床化にかかる費用をどうするか課題【金】 ・どれだけ床をかかさ上げるか問題【金】



【凡例】	
◎	: 魅力 (水色)
▲	: 課題 (赤色)
⇒	: 対応策 (黄色)
□	: 広域拠点の範囲 (赤枠)
水: 水元 金: 金町 新: 新宿	

土地利用	
住環境	◎静かな住宅地【高】 ⇒最低敷地面積、セットバック、植栽等のルールづくり【高】 ⇒新築戸建て住宅の面積の規制【柴】
空き家	▲今後、空き家が増加する【高】 ⇒区が空き家を買収する【高】、空き家の有効活用【柴】
店舗・商店街	◎時代に合った小規模店舗が立地【高】 ▲商店街の空き店舗の増加、活気ない、飲食店等の減少【高】 ▲最寄り駅周辺に子供が利用できる店舗(塾、ジム、習い事等)や子供と一緒に入りやすい店舗(レストラン等)が少ない【高】 ⇒空き店舗一覧の作成、賃貸や起業等の助成金、店舗誘致、新たに商店街をつくる、歩行者天国【高】 ⇒高砂団地東側に大型ショッピングモールをつくる【高】 ▲住民が気軽に立ち寄れる居場所が少ない【高】 ⇒空き家や有効活用できていない公共施設で居場所づくり【高】
観光資源	◎観光資源多い【柴】 ▲七福神や柴又神社の古墳の活用【柴】 ⇒七福神めぐり等の散策ルートの設定、案内板の設置【柴】
土地活用	▲大規模空き地の有効活用【高】 ⇒旧明石小の活用等【高】 ▲柴又駅の高架下を有効活用できないか(店舗等)【柴】
地区の認知度	▲若い人が柴又を知らない【柴】 ⇒写真・動画を中心にSNS等で情報発信【柴】
施設	◎区民センターや図書館等の公共施設が立地【高】 ⇒病院や子育て支援施設の誘導【高】

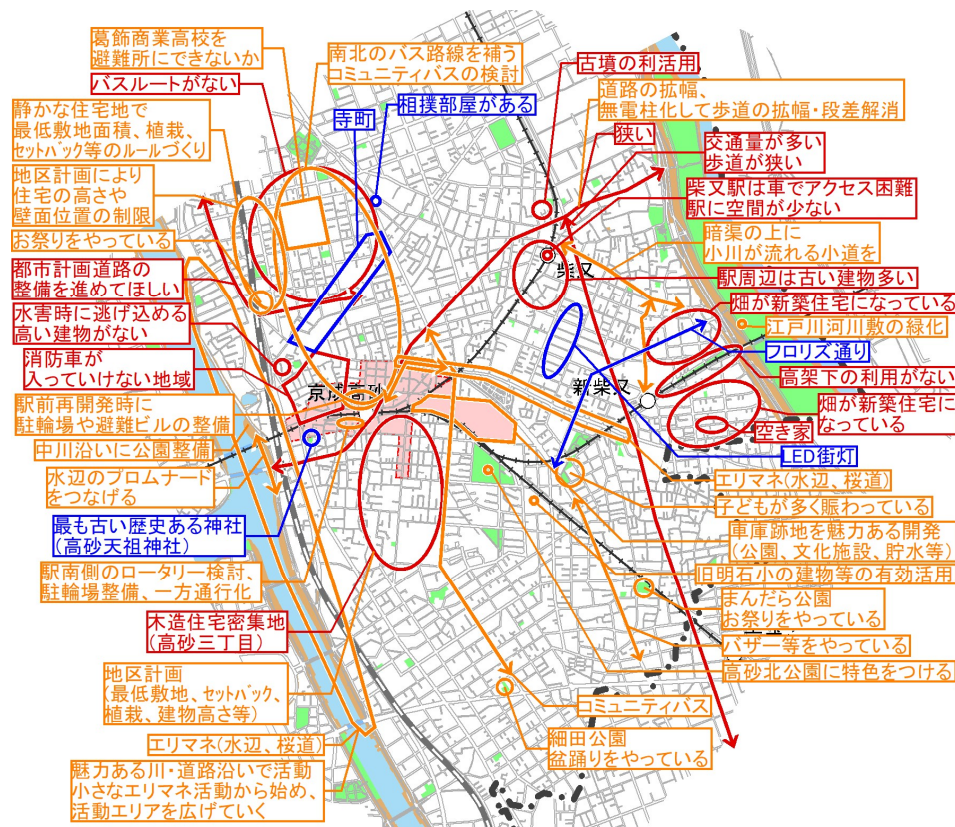
交通	
鉄道	◎鉄道の利便性【高】 ▲開かずの踏切、新金線の旅客化【高】 ⇒京成線の立体化は新金線を考慮、新金線の旅客化の実現、京成線～新金線の乗り換え利便性(高架下の活用等)【高】
駅前	▲駅前へ車で行きにくい、高砂駅周辺は一方通行が多い、駅前にロータリーや待ち合わせできる広場がない【高】 ⇒駅南口のロータリー検討、駅前に駐車場整備、駅付近を歩きやすくするため一方通行化【高】
バス	◎公共交通の充実、バス本数が多い【柴】 ▲バスが通っていない場所がある【柴】 ⇒事業者に運営費用の助成、循環型バス路線の拡充【柴】 ▲南北のバス路線が少ない【高】 ⇒コミュニティバスの検討【高】
道路	▲歩道が狭い【柴・高】 ⇒無電柱化、鉄道立体化に合わせ歩道拡幅・段差解消【柴】 ⇒道路の拡幅、無電柱化して歩道の拡幅・段差解消【高】 ▲歩行者・自転車ともに安全に通行できる道路が少ない【高】 ⇒歩行者の細街路は区画整理で改善【高】
その他	◎放置自転車が少ない【柴・高】 ▲江戸川を利用した水上バスを運行できないか【柴】

緑・景観	
公園	◎公園が多い【柴】 ▲公園が少ない、特色がない【高】 ⇒対象年齢を分けた公園整備、高砂北公園に特色をつける、中川沿いや京成車庫跡地に公園整備(カフェ等のにぎわい創出の仕掛け)【高】 ⇒防災機能を備えた緑の拡充【柴】
緑	▲住宅街やまちなかの緑が少ない【柴】 ▲敷地の細分化で屋敷林が減少、緑に親しめる場所がない【高】 ⇒緑を保つための区の助成金をつくる【柴】 ⇒地区計画等により住宅地の建物の高さや壁面位置の制限、家の購入時に一定金額を区の緑化基金に納付【高】
水辺	◎水辺が豊か(中川、新中川、江戸川沿い)【高】 ▲中川の水辺は賑わいが少ない、あまり利用されていない【高】 ⇒水辺空間の活用・保全、中川に面した中規模公園の設置、区・区民による中川河川敷のPR、新たなイベント検討【高】 ⇒江戸川の河川敷の緑化対策【柴】
景観	◎街並みのルールが充実、重要文化的景観【柴】 ◎高砂橋がランドマーク、高い建物が少ない、寺社が多い【高】 ▲特色のある道路が少ない【高】

市街地整備	
柴又駅・新柴又駅周辺	◎柴又駅周辺は街並みのルールがしっかりしている【柴】 ◎新柴又駅はタクシー乗り場が広い【柴】 ▲柴又駅は車でアクセス困難、道路が狭く大型車が進入できない、駅に空間が少ない【柴】 ⇒住民と話して可能な区画整理【柴】
高砂駅周辺	◎高砂地区まちづくり構想により再開発の機運の上昇【高】 ▲道が狭い、駅前の街路が狭い【高】 ⇒無電柱化、駅前整備【高】 ▲自転車置き場が少ない【高】 ⇒駅前再開発の時にビル又は駅周辺地下に駐車場の整備【高】 ▲駅前に人が集える場所がない【高】 ▲平日昼間の人通りが少ない、人が集まる場所がない【高】 ⇒空き店舗活用(カフェ等)、観光客や留学生等が集まる機能(語学学校、バー、民泊等)、高架下に住民が集まる機能【高】 ⇒京成車庫跡地を魅力ある開発(公園、文化施設等)【高】
エリマネ	▲エリマネマネジメント活動をしくくても、どのように始めたら良いか、どんな団体があるのかわからない【高】 ⇒魅力ある川・道路沿いで活動する小さなエリマネマネジメント活動から始め、活動エリアを広げていく【高】

防災	
水害対策	▲高台の避難場所の整備が必要【柴】 ⇒住宅の高層化の時に避難スペースの確保を依頼、鉄道高架化と駅整備時に避難場所を確保【柴】 ⇒住民への避難場所の周知徹底【柴】 ▲洪水で避難できる高台がない【高】 ⇒駅前再開発の時に避難機能をつけたビルの整備【高】 ▲避難できる大規模公園がない【高】 ⇒洪水時に遊水地となるような親水公園と水辺の整備、中川河川敷に防災施設(災害トイレ、かまど等)【高】
避難場所	▲収容人数不足で避難場所が少ない【高】 ⇒防災協力農地の活用【高】
延焼遮断帯	▲建物の倒壊により道路が塞がらない幅員を【柴】 ▲延焼遮断帯がない【高】 ⇒延焼遮断帯道路の新設【柴】、道路の拡幅【高】
木造住宅密集地	▲柴又駅周辺は古い建物が多い【柴】 ▲拠点地域は木造が密集、緊急車両が通れない地域あり【高】 ▲狭い道路沿いに耐震性のない木造住宅や空き家が並ぶ【高】 ⇒道路の拡幅、不燃化促進や密集市街地整備等の推進【高】
防災意識	◎避難訓練をしている【柴】 ⇒防災学習会の開催【柴】 ▲防災器具等を設置しない等、住民の防災意識が低い【高】 ⇒消防や京成と協力して駅前エリアで防災訓練の実施、災害時の避難情報を世帯ごとにマニュアル化【高】 ▲水害訓練が必要【高】 ⇒訓練の実施、訓練のイベント化【高】
その他	▲北総線の高架を活用し、千葉方面へ避難できないか【柴】 ⇒区と北総線との水害時の対応について話し合い【柴】

復興	
被災後も残したい魅力	◎下町らしさ、寺社、坂が少ない【柴】 ◎駅、寺社、公園、商店街、閑静な住宅地、水辺空間【高】
復興時に解決したい課題	▲道路整備【柴】 ▲道路拡幅【高】 ▲小川・水路を復活し、水辺の多い街に【高】 ▲緑地・水辺の割合を倍増【高】
地域でできる復興事前準備	・コミュニティ形成に向けて、まちづくりに関するイベント開催【柴】 ・様々な世代が参加しやすい復興模擬訓練の実施【高】
中高層・高床化促進地区	・賛成【柴】 ・賛成だが、高床化は難しい【高】



【凡例】
 ◎ : 魅力 ()
 ▲ : 課題 ()
 ⇒ : 対応策 ()
 [] : 広域拠点の範囲
 柴 : 柴又 高 : 高砂

土地利用	
住環境	◎閑静な住宅地、長く住んでいる人が多く人情味がある【小・堀】
商店街	◎駅周辺は商店街や施設が充実して便利【亀・お】 ▲下町の商店街の維持【亀・お】 ⇒下町らしさと駅前との両立、下町らしさを守る建築規制(高さ・容積率の制限)、大型店舗と連携【亀・お】 ⇒駅前商店街のシャッター対策、店舗の流動化【小・堀】
土地活用	▲都営住宅建替に伴う跡地活用【亀・お】 ⇒地域要望を確認して都の空地の活用、避難場所や交流の場として活用【亀・お】 ▲空き家・空き地・駐車場の増加【小・堀】 ⇒地域に人を呼び込む仕掛け、足立区と連携したまちづくり【小・堀】 ◎拘置所の広場が開放的【小・堀】 ⇒拘置所をイベントスペースとして活用【小・堀】
地域内交流	◎若い世代の転入増加【亀・お】 ◎新築家屋が増加、子どもが多い【小・堀】 ▲マンションが多く、昔からの居住者との交流や繋がりが少ない【亀・お】 ⇒にぎわいの創出に向けて住民が参加できるイベント開催、自治町会へ若手参入【亀・お】 ⇒地域のふれあいができる環境【小・堀】
ワルルームマンション	▲ワルルームマンションの増加【小・堀】 ⇒ワルルームマンション工事前に経営者に申し入れ、ゴミ集積所を登録制に、ほつき・ちり取り代の補助を出す【小・堀】
高架下活用	▲京成の線路下が使えない【小・堀】

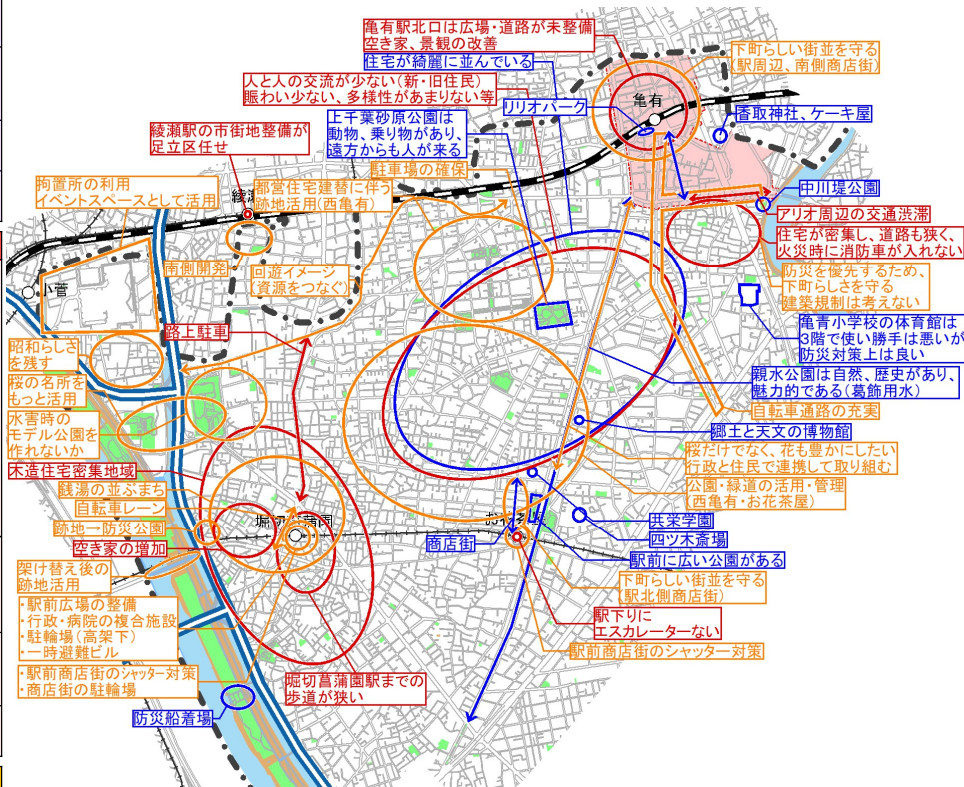
交通	
亀有駅周辺	◎交通の便が良い、京成駅に近い【亀・お】 ▲亀有駅北口は広場・道路が未整備、歩きにくい【亀】 ⇒亀有駅周辺の改善【亀】
お花茶屋駅	▲お花茶屋駅下りにエレベーターがない【お】 ⇒エレベーター設置など、鉄道事業者と話し合い【お】
バス	▲亀有駅から他地区へのバス本数の減少【亀】 ◎バス路線、乗り合いタクシーがある【小・堀】 ▲バスの本数が少ない【堀】 ⇒バス本数の増便【堀】
道路	▲アリオ周辺の土日の交通渋滞【亀】 ▲道が狭い、一方通行多い、堀切菖蒲園駅までの歩道が狭い【小・堀】
自転車	▲一部の自転車通路が充実していない【亀】 ▲自転車レーンは途中で途切れたり、車が停まっていたりすることが多い、駅周辺の駐輪場が少ない【小・堀】 ⇒自転車レーンを途切れないようにする、駅周辺の駐輪場づくり、シェアサイクルの整備【小・堀】
その他	▲移動しづらい高齢者の買い物方法に改善が必要【亀・お】 ⇒空き商店のレンタルなど出店しやすい環境づくり、商店街から高齢者等へのデリバリーサービスの充実【亀・お】

緑・景観	
公園・緑	◎公園・緑が充実している【亀・小・堀・お】 ▲ボール遊びができない、公園整備の充実、都営住宅の公園が利用されていない【亀・お】 ⇒公園・緑道を活用し、地域の交流の場に(マルシェ、大道芸等、30～40代に魅力的なもの)【亀・お】 ⇒各緑道がうまく繋がっている【小・堀】 ▲公園のPR不足、アクセスの問題【小・堀】 ⇒小菅西・東公園の情報をサイネージで流す【小・堀】 ▲緑道の管理がもっときれいになるとよい、落ち葉の清掃【亀・お】 ⇒民間活力による公園・緑地管理、効率的な管理手法【亀・お】 ▲枯葉が溜まる【小・堀】 ⇒街路樹の落ち葉の清掃は町会、老人会を利用する【小・堀】
景観	◎昭和的な地域、四季の道等の魅力的な街並み【小・堀】 ⇒昭和の風景として保全する【小・堀】

市街地整備	
亀有駅周辺	◎亀有駅南口の開発が進んでいる【亀】 ⇒歩いて回遊できるまち、アリオに車でアクセスしやすい交通環境、駅とアリオをつなぐ治道は一体で商業集積【亀】 ▲駅北口はロータリー整備、周辺景観、空き家、道路基盤【亀】 ⇒駅前広場、道路、空き家、景観の改善【亀】
堀切菖蒲園駅周辺	▲駅前広場がほしい【小・堀】 ⇒駅周辺に行政・病院の複合施設、駐輪場(高架下活用)【堀】 ⇒サイネージやWi-Fiで堀切菖蒲園へ人の流れをつくる【堀】
綾瀬駅周辺	▲綾瀬駅の市街地整備が足立区任せ【小】 ⇒駅ビルの建設(医療、ホテル、学校、スーパー、ジム、飲食、防災、会議室、駐車場・駐輪場、屋上農園、出張所、備蓄倉庫)【小】
駅周辺に必要な機能	⇒区民事務所、保育園、イベント広場、若者が気軽に立ち寄れる商業施設(カフェ、書店、駐輪場、シェアサイクル)【小・堀】
自転車	▲駅前商店街利用時の自転車対策【小・堀】 ⇒駐輪場だけでなく、気軽に自転車を停めて買い物できる商店街づくり【小・堀】
推進体制	⇒若い世代の視点で地域の良さを継承できるまちづくり【小・堀】 ⇒区民主体で気軽に意見交換できる場の継続【小・堀】
その他	▲ワルルームの居住者は、いずれ区から出て行ってしまふ【小・堀】 ⇒ファミリータイプでなければ建築を許可しないようにする【小・堀】

防災	
水害対策	▲民間の建物の協力が得づらく、身近な避難先がない【亀】 ⇒公共施設が少ないので近所のマンションと協定を締結して避難、再開発等の際に避難スペースの創出【亀】 ▲水害時の避難場所がない又はわからない、マンション等との垂直避難の提携推進【小・堀】 ⇒小中学校の改築にあわせて水害対応、堀切菖蒲園駅前の空間整備にあわせて一時避難できる高層建築物の整備、集合住宅に避難できるように【小・堀】 ▲水害への対応【亀・小・堀・お】 ⇒堤防整備の際、テラス整備等を行い、平常時の魅力向上【亀】 ⇒地下調節地の整備、堤防整備【小・堀】 ⇒水害をテーマにした勉強会、ワークショップ開催【小・堀】
木造住宅密集地	◎細街路整備事業が進んでいる【亀】 ▲木造住宅が密集している区域があり、道が狭い【亀・小】 ⇒道路の拡幅【小・堀】 ▲駅前以外は無電柱化が進んでいない【亀】 ◎小菅拘置所のオープンスペース【小・堀】 ⇒拘置所への避難を想定した大規模な避難訓練【小・堀】 ◎毎年地域での防災訓練を実施している【小・堀】
防災訓練	◎毎年地域での防災訓練を実施している【小・堀】
その他	▲空き家の管理ができていない【小・堀】 ▲電柱が多すぎる、停電や倒壊の心配【小・堀】

復興	
被災後も残したい魅力	◎人情、街並み、高さ制限等の下町らしさ、公園、寺社、郷土と天文の博物館、堀切菖蒲園、四ツ木齋場等【亀・お】 ◎小菅一丁目の街並み、堀切菖蒲園(江戸時代からの文化)、水路、文化財【小・堀】
復興時に解決したい課題	▲亀有二丁目の密集の区画整理【亀】、緑道の改善【亀・お】 ▲区画整理で作り直すことが必要【小・堀】
地域でできる復興事前準備	・地域の関わりを作り、事前に何を残すか話しておく【亀】 ・若者が集まれる広場等の整備、復興も含めた草の根ワークショップ、住み続けたいと思える魅力的なまちづくり等【小・堀】 ・小菅地区でも震災復興まちづくり模擬訓練の実施【小】
中高層・高床化促進地区	・賛成だが浸水深さを考慮した優先順位の検討、北側斜線・コスト等の問題【亀・お】 ・集合住宅、共同住宅への建替えを進める【小・堀】 ・水没を前提にしないように他の対策も【小・堀】 ・高床化への補助を受けられるように【小・堀】



【凡例】

- ◎ : 魅力 (青)
- ▲ : 課題 (赤)
- ⇒ : 対応策 (黄)
- : 広域拠点の範囲 (赤点線)

亀 : 亀有 小 : 小菅
堀 : 堀切 お : お花茶屋

土地利用	
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 駅高架下のスーパーなど日常の買い物は便利、主要な公共施設ある(シンフォニーヒルズ、テクノプラザ、税務署、保健所等)【青】 ◎ マンションができて子供が増え活気、町内に公園がある【立】 ◎ 工場があり昼間も人がいる、工場の人が通学路で見守りや子ども110番にもなっている【四】 ⇒ 区民サービスを駅前に集約【立】
商店街	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 駅内商業施設に活気がない、大型店がほしい【青】 ⇒ 協議会の再編、高架下と連携した商店街の活性化【青】 ▲ 立石駅周辺・商店街の賑わい、個店の立地誘導【立】 ⇒ 生活に密着したお店の誘致【立】 ▲ 商店街がシャッター通り、宅地化が進む【四】 ⇒ 商店のある建物を維持するためのルールづくり【四】
高架下活用	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 京成線高架下の土地利用【立・四】 ⇒ 高架下の利用【立】、高架下に公共施設整備(駐輪場等)【四】
その他	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 商店会運営などに若者が参加しない【立】 ⇒ 若者の集いの企画、マンション住民に地域活動参画の声掛け、エリアマネジメントの活用【立】 ▲ ワンルームマンションの増加【四】 ⇒ ワンルームマンションを規制するルールづくり【四】

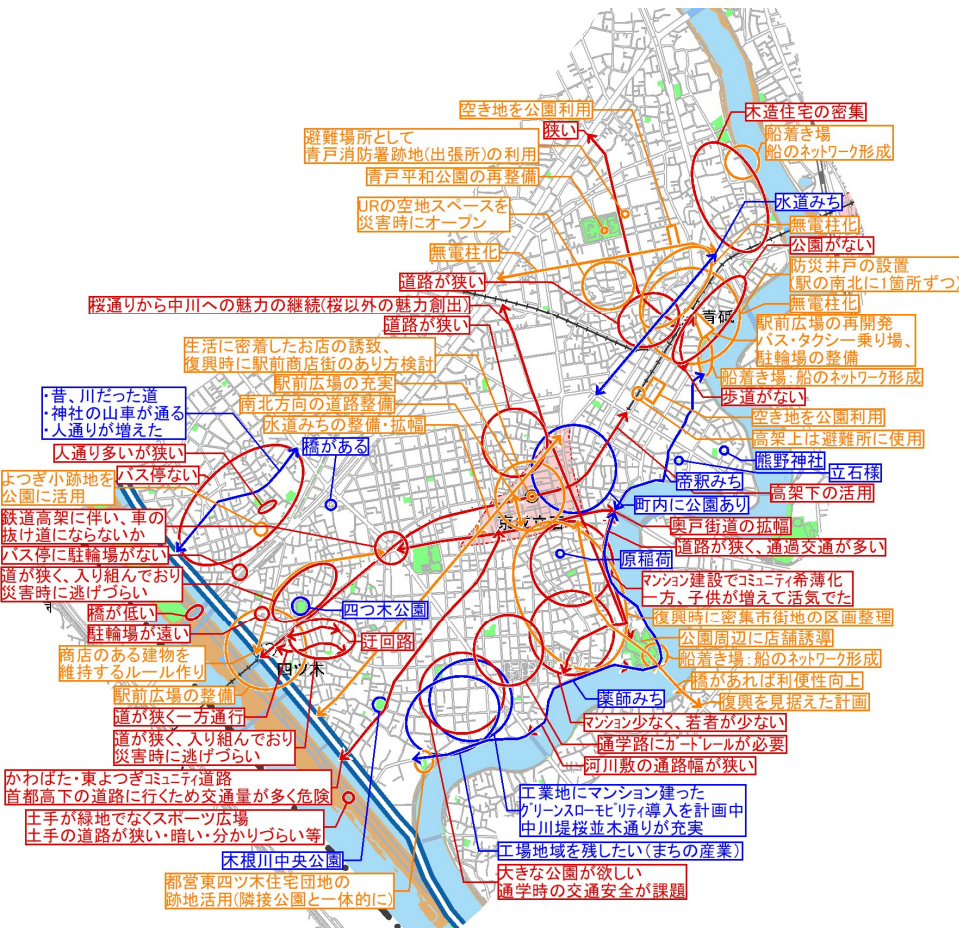
市街地整備	
青砥駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 駅前広場又はロータリーが必要、タクシー乗り場の不備、駅にバスが乗り入れられない【青】 ⇒ 青砥駅前広場の再開発、青砥駅南側にバスやタクシー乗り場の移転、駐輪場の整備【青】 ▲ 青砥駅前の歩道整備、駅周辺の道路拡幅が必要【青】
立石駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 再開発エリア周辺の基盤整備、街並み整備が必要【立】 ⇒ 立石駅周辺の一体的整備、車の利便性だけでなく、歩行者、自転車のことも考える、広いエリアのランドデザイン【立】 ▲ 大きな公園の整備が必要【立】 ⇒ 賑わいを見据えたオープンスペースの整備、他のエリアから人を集められる街づくり【立】 ▲ 道路整備の不備(通過交通へ対応)【立】 ⇒ 奥戸街道の整備【立】 ⇒ 水道みち整備、駅北口広場のアプローチ道路は複数必要【立】 ⇒ 南北方向の道路を整備し、拠点にアプローチしやすくする【立】
四ツ木駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 駅前広場がない、四ツ木駅周辺は大型車が通れない、一方通行などが問題【四】 ⇒ 駅前にバスが停まれるスペースの整備【四】 ▲ 駅近くに駐輪場が欲しい【四】 ⇒ 高架下を活用し、駐輪場、公園、保育園、病院等【四】 ▲ 交通量は多いが、狭い道がある【四】 ⇒ 複雑な街路の簡素化/案内強化、狭い一方通行の解消【四】

交通	
青砥駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 青砥駅は交通利便性が高い【青】 ▲ 道路が狭い、歩道がない【狭い】 ⇒ 無電柱化、道路の断面構成の検討【青】 ▲ 駅周辺に駐輪場が少ない【青】
立石駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 立石駅の駅前広場の充実、駅利用者が駅周辺で買い物できる環境の形成【立】 ⇒ 駅を中心にコミュニティバスの整備、自転車の安全利用【立】
四ツ木駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 四ツ木駅前にタクシー乗り場の整備【四】
道路	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 道路が狭い、通過道路が多い【立】 ⇒ 通過交通の時間制限、ゾーン30の導入【立】 ▲ 奥戸街道(バス通り)の渋滞【立】 ⇒ 道路の拡幅【立】 ▲ 道が狭く、子どもの登下校が心配【四】 ⇒ 商店街(バス通り)を歩きやすくする【四】
自転車	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 駅から駐輪場が遠い、商店街(バス通り)は自転車で行きにくい【四】 ⇒ 駅近くやバス停の隣に駐輪場の設置、バス通りに自転車レーンの整備【四】

防災	
水害対策	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 高台に避難する建物が少ない【青】 ⇒ 青戸消防署跡地の再利用、URの空き地利用、堤防に人が集まれるスペースの確保(緑地化)【青】 ▲ 水害の不安【立】 ⇒ 再開発の際に周辺の人もマンション等に避難できるように【立】 ⇒ 高架下を避難所として使えるか【立】 ▲ 近くにマンションはあるが、水害時の避難の取り決めがない【四】 ⇒ マンションを建てる時に緊急時に避難できるように相談【四】 ▲ 地区センターが狭く避難所は学校くらい、避難所に住民を収容しきれない、学校の避難所が水害時に対応できるか【四】 ⇒ 浸水対応建築物として大型商業施設の駐車場等を指定、小中学校を高台化して公園併設、学校の建替え時に住民が逃げられる災害対応型に、高台となる大きな公園の整備【四】
オープンスペース	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 青戸公園がある【青】 ⇒ 青戸公園に防災施設(かまどベンチ等)【青】 ▲ 青砥駅南側に公園がない【青】
木造住宅密集地	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 道路が狭い、電柱倒壊で通行できなくなる【青】 ⇒ 延焼防止のため道路拡張、無電柱化、地区計画の活用【青】 ▲ 木造住宅が密集している【青・立】 ▲ 狭い道路の再整備が必要【立】 ▲ 大型消防車通行不可の道多い【四】 ⇒ 狭い道路の拡幅【四】
防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 避難訓練をやっている所を見たことがない【四】 ⇒ 地域全体で防災訓練に参加【四】
その他	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 民間と行政が協力した備蓄等の取り組み【立】

緑・景観	
公園	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 青戸公園があり、緑が多い【青】 ▲ 青砥駅近くに公園がない、公園の整備と拡充が必要【青】 ⇒ 空き地に公園整備、青戸平和公園の再開発【青】 ▲ 公園にゴミが捨てられる【立】 ⇒ 公園のゴミへの対応【立】 ▲ 住宅地は敷地が狭くて緑を置けない【立】 ⇒ 大きな公園の整備、東立石緑地公園周辺に店舗の誘導【立】 ▲ 公園が少ない、公園に緑が少ない【四】 ⇒ 公園の芝生化【四】
緑	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 中川堤桜並木【立】 ▲ 中川、桜通り等、区役所～駅まで魅力の継続【立】 ⇒ 中川～桜通りに桜以外の魅力創出(四季折々の植栽)【立】 ▲ 曳舟川親水公園は桜の根っこで路面が浮いて歩きづらい【四】
水辺	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 土手が緑地ではなくスポーツ広場である【四】 ⇒ 土手の芝生化【四】 ▲ 土手で散歩以外の活動をしたことがない【四】 ⇒ 土手・河川敷・水辺を試しに試してみる【四】 ▲ 土手の道路が狭い【立】 ▲ 土手へ行く道は暗い・わかりづらい・上りにくい【四】 ◎ 昔の水路跡がある【四】 ⇒ 交通量が少ない所で水路の復活【四】 ⇒ 中川親水テラス周辺など、人が集まる仕掛けづくり【青】
景観	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 四ツ木駅前が暗い【四】 ⇒ 駅前にオープンスペース【四】

復興	
被災後も残したい魅力	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 青戸平和公園【青】 ◎ まちの産業である工場地域、立石様・熊野・原稲荷等の神社、立石駅前の対面販売【立】 ◎ スカイツリーへの眺望【四】
復興時に解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"> ▲ オープンスペースの確保、無電柱化【青】 ▲ 密集市街地の区画整理、立石駅前商店街のあり方【立】 ▲ 大きな公園の確保、地域全体のかさ上げ【四】
地域でできる復興事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の水路の活用、船着き場【青】 ・リスク・まちの復興を話し合うことから始める【立】 ・震災復興まちづくり模擬訓練は強制しないと参加しない【四】
中高層・高床化促進地区	<ul style="list-style-type: none"> ・青戸六丁目の木造家屋の高床化【青】 ・賛成だが日照権の問題、既存の高さ制限との兼ね合い、コストがかかる等の問題がある【立】 ・今の地盤高に建てるなら賛成【四】



【凡例】

- ◎ : 魅力 (青)
- ▲ : 課題 (赤)
- ⇒ : 対応策 (黄)
- : 広域拠点の範囲

青 : 青戸 立 : 立石 四 : 四つ木

土地利用	
店舗・商店街	◎大型店がある【奥】 ◎商店街が多い、にぎわいがある【新】 ▲商店の魅力が低い、種類に偏り、おしゃれな店が少ない等、商店街の魅力低下【新】 ⇒おしゃれな店の誘致、駅前再開発ビルに魅力的な店、商店街ごとに店舗誘致、エリマネでイベント活性化【新】 ⇒環七沿道の有効活用に向けて都市計画情報を民間事業者へ提供【奥】
施設	◎公共施設が多くある【新】 ▲区役所関連の施設が少ない【奥】 ⇒区役所の支所がほしい【奥】
跡地利用等	▲森永乳業の跡地利用の方針【奥】 ⇒地元の雇用創出、防災公園、支所など【奥】 ▲UR団地のストック再生【新】
その他	▲新小岩と奥戸の一体感がない【新】 ⇒新金線東新小岩駅まちづくり【新】

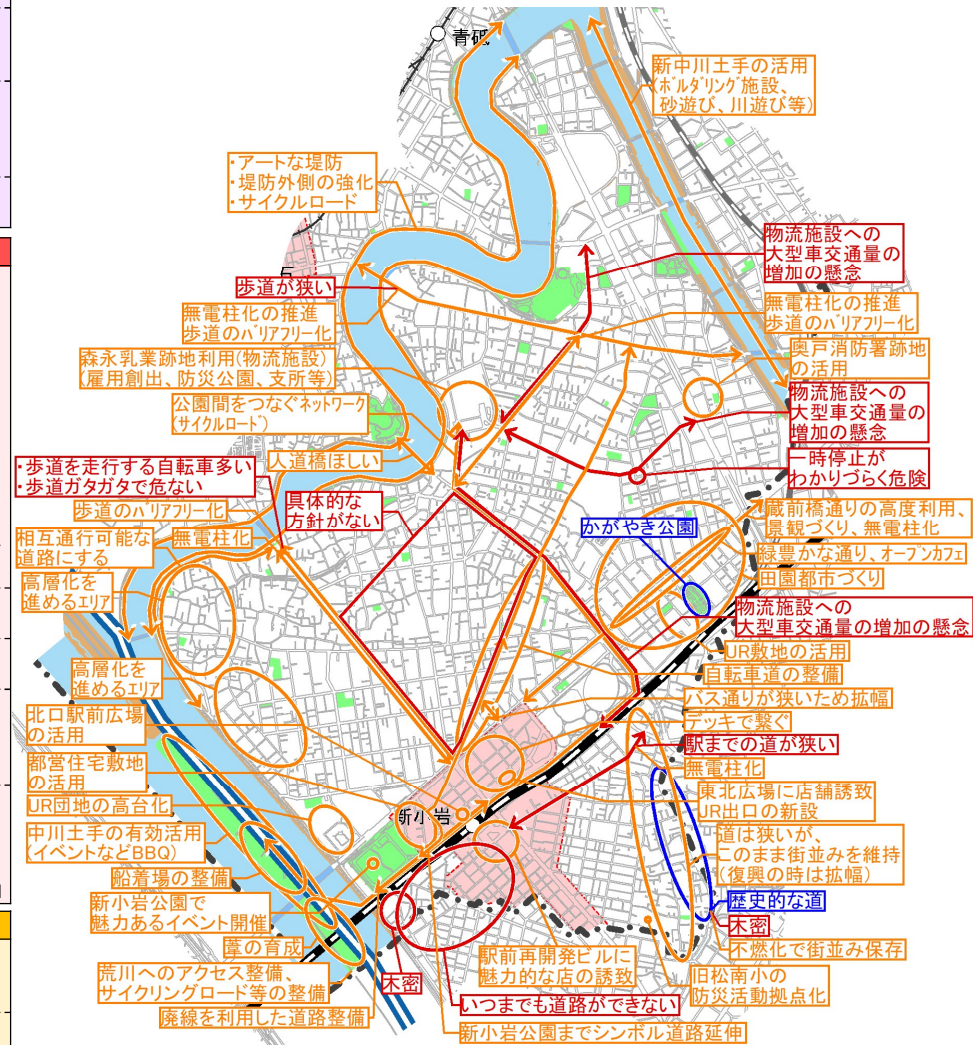
市街地整備	
駅前広場	◎東北口広場に民間の駐輪場が整備された【新】 ▲東北広場の活用が進んでいない(周辺の再開発が進んでいない)【新】 ⇒北口駅前広場の有効活用(マルシェ等の開催)【新】
駅周辺に必要な機能	・駅前北側をペDESTリアンデッキで繋ぐ【新】 ・ホール、図書館、ホテル、複合店舗、駐輪場、レンタルルーム等【新】
公園	▲区の公園が少なく、子どもの遊び場がない【新】 ⇒小規模な公園の整備、児童遊園はあるが魅力がないため、もっと区民が関わるようにする【新】
道路	▲道路の広さと建物の均一化【奥】 ⇒歩道のバリアフリーと無電柱化【奥】 ▲市街地未整備の土地が多く、道路が狭く、早急な課題【新】 ⇒バス：区道の拡幅【新】
その他	▲商店街だから拠点として良いのか、今は通信技術も発展し、商店街のあり方も変わる【新】

交通	
公共交通	◎鉄道・バスが便利【新】 ◎バス路線が充実【奥】 ▲バスの本数が少ない、病院への巡回路線バスがない【奥】 ⇒小型バスの運用【奥】、亀有・金町方面のミニバスの運行【新】 ▲公共交通で北方面に行きづらい【新】 ⇒北側へ行くバスは東北広場に集約【新】 ⇒交通結節点機能はあるため、そこへのアクセス性の向上【新】
駅前広場	▲東北広場がさみしい【新】 ⇒東北広場に店舗の誘致、JR出口の新設【新】
鉄道	▲新金線の活用【新】
歩道	▲歩道が狭い【新】 ⇒バス道路を無電柱化、幹線道路に歩道整備【新】 ▲歩道は歩行者と自転車が混在【奥】 ⇒無電柱化で歩道を拡張し、歩行者と自転車の区別【奥】
自転車	▲自転車がない、駐輪しづらい【新】 ⇒自転車専用道、駐輪場の整備【新】
その他	▲森永乳業跡地周辺の大型車交通の増加が懸念される【奥】 ⇒森永乳業跡地周辺の交通体系の検討【奥】

防災	
水害対策	▲避難場所になる高い建物がない【奥】 ▲水害時の避難所対策(学校、体育館)【奥】 ⇒学校建替え時に浸水対応型の建設を望む【奥】 ⇒奥戸消防跡地の活用(防災公園等)【奥】 ⇒商業施設と協定を結び、立体駐車場に避難できるように【奥】 ▲旧松南小の高台化と防災活動拠点化【新】 ⇒旧松南小の防災活動拠点化【新】 ▲新小岩四丁目には5階以上の建物が少なく、避難場所は学校のみ【新】 ⇒建物の床を高くする【新】 ⇒水害時に新しくたマンションに一時避難できるようにする【新】 ▲水害対策が不十分【奥】 ⇒土地のかさ上げで対策、町会毎にオープンチャットで情報発信【奥】
避難場所	⇒避難場所として、生産緑地の活用、防災公園の整備(森永乳業跡地の活用)【奥】
避難ルート	▲南側から新小岩公園に抜ける避難路がない【新】
木造住宅密集地	▲密集地区がある【新】 ⇒小規模戸建てが建たないようにルールづくり【新】 ⇒木密地区、商店街の不燃化【新】 ▲歴史道は不燃化で街並み保存【新】
防災意識	◎町会の区民消防隊で毎月、訓練している【新】 ▲区民が災害に関心、防災訓練への参加が少ない【奥】 ▲若い町会員のための専用SNS等を運営する人手がない【奥】 ⇒町会からSNSで発信【奥】 ⇒区の持つ情報をどう得るか、HPからダウンロードできるとよい【奥】

緑・景観	
公園	▲子育て世代が使える公園が少ない、お年寄りが休める場所がない【奥】 ⇒大きな公園の整備、ひと休みできる四阿等の設置【奥】 ◎新小岩公園、東新小岩二丁目かがやき公園【新】 ▲子どもが遊べる身近な公園の不足【新】 ▲新小岩公園を活用できていない、児童遊園は魅力がない【新】 ⇒魅力あるイベントの開催、土地を借りて公園の整備【新】 ▲駅南側に防災公園がない【新】
緑	◎生産緑地がある【奥】 ⇒生産緑地の活用(葛飾元気野菜、地産地消)【奥】 ▲一般住宅で緑は難しい【奥】 ⇒街路樹は景観の良い、管理しやすいものに【奥】 ⇒川辺や堤防、道路沿いに花や緑【新】
水辺	◎中川、新中川の整備が進んだ【奥】 ▲新中川の土手が活用されていない【奥】 ⇒河川敷にボルダリング施設の誘致、土手に花を植える【奥】 ◎荒川の水辺がある【新】 ▲荒川が活用できていない、魅力がない【新】 ⇒荒川へのアクセス整備、荒川にサイクリングロード等を整備して公園化【新】
景観	◎歴史的な道がある【新】 ▲無電柱化が少ない【新】

復興	
被災後も残したい魅力	◎交通公園、寺社【奥】 ◎寺社、七曲、下町らしさ、人情・文化【新】
復興時に解決したい課題	▲復興計画の活用方法(町会単位で作成)【奥】 ▲震災・水害時に区役所と地域住民の間を取り持つことが重要【奥】 ▲送電線の地下化、未整備地区の整備【新】
地域でできる復興事前準備	・区との連携強化【奥】 ・震災復興まちづくり模擬訓練をしっかりとやる【新】
中高層・高床化促進地区	・概ね賛成：高床化住宅のモデルハウス展示【奥】 ・概ね賛成【新】



【凡例】
 ◎：魅力 ()
 ▲：課題 ()
 ⇒：対応策 ()
 ■■■：広域拠点の範囲
 奥：奥戸 新：新小岩